

ADVANCE

TOYOTA TECHNOLOGICAL INSTITUTE
 豊田工大だより 2013. June Vol. 88



新設された「Innovators Plaza t-COMPASS」において

Contents

2012年度卒業式・修了式.....	2
2012年度卒業・修了生の進路状況.....	3
卒業生・修了生に聞く 内定獲得の秘訣.....	4 ~ 5
2013年度入学式.....	6
新入生インタビュー.....	7
2013年 入試結果、オープンキャンパス日程.....	8
工学部一般入試 出身高校所在地区別データ、2013年度合格者高校一覧.....	9
Innovators Plaza t-COMPASS 新設.....	10 ~ 11
こんにちは、先輩！.....	12
人事紹介.....	13
News FILE.....	14 ~ 15
受賞.....	16

【行事予定 (7月～12月)】

学事

- 7月24日～30日 修士前期定期試験
- 7月26日～8月1日 学部前期定期試験
- 7月31日～9月24日 修士学外実習
- 8月2日～9月8日 夏期休業
*教職員夏期一斉休暇は8月6日～20日
- 9月23日 後期授業開始
- 12月27日～1月5日 冬季休業

イベント

- 7月18日 スマートエネルギー技術研究センターシンポジウム
- 8月24日～25日 オープンキャンパス
- 9月12日～13日 半導体プロセス実習・講習会
- 9月14日～15日 天樹祭(大学祭)、オープンキャンパス
- 11月15日 局所構造制御研究センターシンポジウム

2012年度 卒業式・修了式

～未来に向かって羽ばたけ～

2012年度卒業式・修了式が3月19日、本学講堂にて挙行された。工学部卒業生は88名(専修プログラム59名、総合プログラム29名)、大学院工学研究科(修士課程)修了生は30名、博士(工学)学位取得者は1名、計119名が巣立っていった。

榊裕之学長から、学部代表の酒井由紀子さん(愛知県立横須賀高等学校出身)と野口俊仁君(長野県立長野県諏訪双葉高等学校出身)、修士代表の佐藤龍仁君(岐阜県立多治見高等学校出身)に、それぞれ学位記が授与された。また、博士学位については船木篤さん(旭硝子株式会社)の学位取得が、論文題目と併せて紹介された。

榊学長は「今後直面する様々な課題の解決には、学び、考え続けることが必要。そのための方法論を、本学で身に付

けたと思う。創造への強い意欲を育む教育を受けてきたことに自信と誇りを持ち、社会で活躍してほしい」とメッセージを贈った。

続いて、学校法人トヨタ学園 瀧本正民理事長(トヨタ自動車株式会社 顧問、株式会社豊田中央研究所 代表取締役)は「世のため人のため」という志を持ち、何事にもひるまず挑戦する技術者や研究者となり、これからの明るい未来を築いてほしい」と期待を込めた祝辞を贈った。

また、トヨタ自動車株式会社 名誉会長 豊田章一郎氏をはじめとする来賓の方々を代表し、トヨタ自動車株式会社 取締役副社長 加藤光久氏が祝辞を述べた。加藤氏は「常に新たな技術を世に問う姿勢こそ、日本の産業発展を支えてきた基本の精神であり、豊田工業大学

の建学の理念にも通じる考え方だと思う。チャレンジマインドを培った皆さんの技術力により、将来の日本を支えてほしい」と激励した。

卒業生を代表して大西健史君(大阪府立千里高等学校出身)は、大学生活での経験と成長を振り返り、修了生を代表して小高加菜さん(国立鈴鹿工業高等専門学校出身)は、研究に打ち込んだ日々とその教育環境について謝辞を述べた。

最後に、学業成績・人物ともに特に優秀な人物に与えられる「豊田奨学基金賞」が、長内翔太君(トヨタ自動車株式会社)と酒井玲香さん(私立鶯谷高等学校(岐阜県)出身)に授与された。



榊学長から学位記を授与される船木篤さん



トヨタ自動車株式会社 取締役副社長 加藤光久氏



来賓として出席されたトヨタ自動車株式会社 名誉会長 豊田章一郎氏



2012年度 卒業・修了生の進路状況

- ・就職決定率 100%達成(開学以来 100%を維持)
- ・第一志望への就職率 71%

卒業・修了生の進路(就職は内定状況)

	学部		修士課程			博士後期課程		
	社会人	一般	社会人	一般	留学生	社会人	一般	留学生
卒業・修了	8(10)	82(72)	2(1)	28(32)	2(3)	1(0)		(2)
満了							1(0)	2(0)
企業復帰	8(10)		2(1)			1(0)		
就職		26(25)		27(30)			1(0)	(1)
進学		54(47)		1(2)				
その他		2(0)			2(3)			2(1)
計	8(10)	82(72)	2(1)	28(32)	2(3)	1(0)	1(0)	2(2)
	90(82)		32(36)			4(2)		

() は昨年実績人数

一般学生の就職先一覧

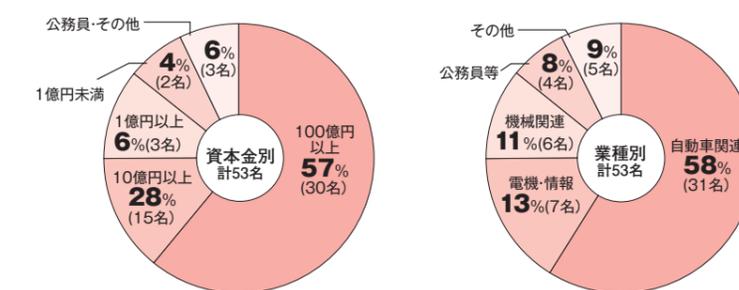
企業名	学部(26名)		修士(27名)	
	企業名	人数	企業名	人数
アイシン・エイ・ダブリュ(株)	2	トヨタ自動車(株)	4	
アイコクアルファ(株)	1	(株)豊田自動織機	4	
愛三工業(株)	1	(株)デンソー	3	
イトモル(株)	1	アイシン・エイ・ダブリュ(株)	2	
江崎グリコ(株)	1	三菱電機(株)	2	
(株)協豊製作所	1	矢崎総業(株)	2	
小島プレス工業(株)	1	(株)NTTデータ	1	
三建設備工業(株)	1	キュービー(株)	1	
(株)ジェイテクト	1	(株)協豊製作所	1	
大豊工業(株)	1	サンディスク(株)	1	
中外炉工業(株)	1	(株)ジャパン・ティッシュ・エンジニアリング	1	
デンソー(株)	1	住友電気工業(株)	1	
(株)東海理化	1	ダイキン工業(株)	1	
(株)東郷製作所	1	北海道電力(株)	1	
(株)豊田自動織機	1	(株)MARUWA	1	
トヨタ車体(株)	1	ヤフー(株)	1	
(株)パロマ	1			
東日本旅客鉄道(株)	1			
フタバ産業(株)	1			
丸紅(株)	1			
矢崎総業(株)	1			
ヤマザキ・シー・イー(株)	1			
公務員(一宮市役所)	1			
(財)愛知水と緑の公社	1			
その他(自営業)	1			

【参考】累計就職先上位 20 社 (1995年～)

トヨタ自動車(株)	57
(株)豊田自動織機	38
(株)デンソー	37
本田技研工業(株)	34
アイシン・エイ・ダブリュ(株)	31
アイシン精機(株)	30
矢崎総業(株)	24
ジェイテクト(株)	17
三菱電機(株)	16
トヨタ紡織(株)	13
ダイハツ工業(株)	11
トヨタ車体(株)	11
フタバ産業(株)	11
豊田合成(株)	10
日本精工(株)	10
愛三工業(株)	9
キヤノン(株)	9
パナソニック(株)	9
スズキ(株)	8
(株)トヨタコミュニケーションシステム	8

* 社会人学生を除く一般学生のみ

資本金別・業種別グラフ



卒業・修了生に
聞く

獲得の秘訣

2012年度も就職決定率100%を達成した豊田工業大学。無事に内定を勝ち取り、春から新社会人となった4名に、就職活動を振り返っての成功の秘訣や、後輩へのアドバイスについて聞いた。

氏名	上田 純也	出身校	愛知県立旭丘高等学校出身	
就職先	丸紅株式会社			
研究室	電磁システム (学部)			
研究テーマ	「基底面の射影法」を用いた電磁攪拌時の自由表面位置の電磁流体解析			

「技術を深める人／製品を広める人」

私は、良い技術は世の中に広がり、使ってもらい、人々の生活に役立ってこそ意義があると信じています。ある一つの“モノ”に対する技術的な発展はもちろん重要ですが、その優れた製品を通じて世界中の流れを作っていくのが総合商社であり、そのスケールの大きさに魅力を感じました。また、商社では売れる製品をよく理解していることは必須であり、そこに工学部生として学んできた知識・経験のバックグラウンドを生かせると思い、豊田工業大学には実績のない商社であっても、自信を持って採用試験に臨みました。

総合商社の業界では、豊田工業大学はあまり知られていませんでしたが、学外実習や工作実習などアピールできるプログラムが多く、大学の紹介が結果的には自分自身のPRにもつながりました。私の場合は、さらに入学後に立ち上げた鳥人間サークル*での苦労話や、経済産業省の欧州インターンシッププログラムに1年間にわたり参加した経験をPRしましたが、これらは全てモノづくりに関連した内容となりました。工学を学んだ人の就職先は、必ずしもメーカーとは考えず、広い視野で様々な業界を検討してみたいかがでしょうか。

*毎年夏に琵琶湖で開催される「鳥人間コンテスト」出場を目指し、オリジナルの人力飛行機を製作

氏名	飯村 ひかる	出身校	富山県立富山中部高等学校出身	
就職先	株式会社パロマ			
研究室	マイクロメカトロニクス (学部)			
研究テーマ	光ファイバと組み合わせるマイクロ流路デバイス			

「心底“モノづくり”が好き」

小学生の頃、毎週のように工作教室に通い、自分の手で作ったものが実際に動いた時に覚えた感動こそ、私の「モノづくり」に対する愛着の原点だと思います。さらに、1・3年次の学外実習において、“生産”と“研究開発”に関する部門を経験したことで、製品になるまでの各工程を目にし、それぞれの魅力を感じることができました。これらが原動力となり、モノづくりに携わる仕事に就きたいと考えるようになりました。

実際の就職活動では、“モノづくりが好き”“現場で働きたい”という気持ちをアピールしました。中でも、内定をいただいたパロマには、ガス機器の部品から最終製品までを自社で製造するという点に共感し、魅力を感じていました。面接では、毎年モノづくりの経験を問う質問をしているようでしたが、私の場合はその回答に困ることは全くありませんでした。

私は進学先も就職先も、「自分のしたいこと」を最優先させた結果、男性が多い環境を選択することになりましたが、全く気にしていません。一方で、就職活動中に、企業の方から「女性だからこそコミュニケーションが図りやすい時や、気付くことのできる視点がある」と言われたことがあります。自分のやりたいこと、できることを考え、与えられた環境の中で、自分の強みを最大限に生かしていくことが大切だと思います。

氏名	末次 晋平	出身校	私立長崎日本大学高等学校 (長崎県) 出身	
就職先	トヨタ自動車株式会社			
研究室	材料プロセス (修士)			
研究テーマ	過共晶 Al-Si-Cu 合金のソノ凝固によるヘテロ構造の創成			

「自分のペースで面接を進めるために」

就職活動の当初は「自分の可能性」を試してみたいとの思いが強く、研究分野である“金属材料”とは異なる分野の企業を、製造業に限定せずに受けていました。そのため、エントリーシートや面接時における志望動機が曖昧になることも多くありました。一方で、面接時には、たとえ最終であってもストレートには志望動機を聞かない企業も多く、“どういう学生なのか”を問う質問が多くありました。

こうした中で、私は“修士研究”を自己PRに使いました。なぜなら、修士研究は自分の裁量で進められる部分も多く、苦労した点も人により異なるため、パーソナリティを紹介する材料の宝庫であると考えたからです。特に“内容と取り組み経緯・姿勢”を魅力的に話せるよう、説明の仕方には事前準備を入念に行いました。実際に、面接官から追加の質問が数多くあると、自分のペースで面接が進んでいる気がしました。

最終的にトヨタ自動車に決めた理由は“トコトンやらせてくれる”という研究室に似た環境があると感じた点、また多くの先輩方が成果を出している話も耳にしていたからです。自分も先輩たちに続いて、新しい技術を生み出し、世の中に送り出していけるエンジニアになりたいと思っています。

氏名	館林 大亮	出身校	愛知県立半田高等学校出身	
就職先	三菱電機株式会社			
研究室	フロンティア材料 (修士)			
研究テーマ	希土類添加シリカファイバの増幅特性向上の研究			

「エピソードを交えて自分の思いを伝える」

私は学部3年の時、学外実習で三菱電機株式会社名古屋製作所にお世話になり、そこでレーザー加工機の品質管理業務を体験しました。名古屋製作所はレーザー加工機等のFA*製品を扱っており、「モノづくりを支えるモノづくりの工場」と言われています。この実習を契機に技術者や企業を助ける仕事に魅力を感じるようになりました。

面接では、業務内容よりも製品にこだわりがある点をアピールしました。学外実習における学部1年次の工場でのライン作業や、3年次の品質管理業務、開発業務の実習を経験した結果、どの業務にもやりがいがあり、業務自体に優先順位はつけ難いと考えようになったからです。また、豊田工業大学で幅広い分野の授業を履修してきたことが、研究分野とは関連性が薄いと思われる企業に対しても、抵抗無く受験できた要因になったと思います。

私はファイバレーザの増幅特性を向上する研究を行っていたので、レーザー加工機の発振器に特に興味があると伝えました。自分の考えを伝える上で、なぜ自分がそのように考えることになったのか、そのエピソードを交えて話すことで、面接官に自分の思いを理解していただくことが大切です。

*FA:ファクトリーオートメーションの略。産業用ロボットによる作業の無人化

2013年度

入学式

～ようこそ**未来のエンジニア**たち～

2013年度入学式が4月1日に挙行政され、学部104名、大学院工学研究科(修士課程)46名、同博士後期課程2名の計152名が入学した。そのうち、1名は本学と海外の連携大学の双方で修士学位を取得できる「ダブル・ディグリー・コース」への入学である。

榊裕之学長は「本学は、自動織機発明のために幾多の困難を克服してきた豊田佐吉翁の言葉「研究と創造に心を致し、常に時流に先ずべし」を建学の

理念としている。この言葉には、生涯をかけて研究と創造に打ち込み、社会に貢献してきた佐吉翁の熱き思いが込められている。この思いを引き継ぎ、日本の産業に留まらず、世界の工学を拓くリーダーとしての基盤を築いてほしい」と、期待と歓迎の言葉を贈った。

続いて、学校法人トヨタ学園 柏原正則常務理事は「本学はグローバルに活躍できる、創造的で実践的な技術者の育成を目指した教育を行っている。大学

での学びを通じ、自分の頭で考え、自らの知恵と工夫で問題を解決できるようなエンジニアへと成長してほしい」と激励した。

新入生を代表して、学部の助村椋君(熊本県立熊本高等学校出身)、大学院の奥山竜太君(三重県立津高等学校出身)がそれぞれ誓いの言葉を述べ、これから始まる大学生活において、勉学や研究に励もうとする熱い意気込みを見せた。



コラム Column

入学式後のオリエンテーションでは、新入生は名古屋市西区にある「トヨタテクノミュージアム産業技術記念館」および本学図書館内設置の「Innovators Plaza t-COMPASS」(P10、11で紹介)を見学した。

「業績や発明品ばかりに目が奪われがちだが、その背景には苦労や失敗、計り知れない努力があったということを改めて意識した」「研究や進路で悩んだ時、迷った時に訪れて、初心を思い返せる場所にしたい」「佐吉翁・喜一郎氏が残した言葉には、現在の企業にとって最も大切なことが全て込められているように感じた」などの感想が聞かれた。

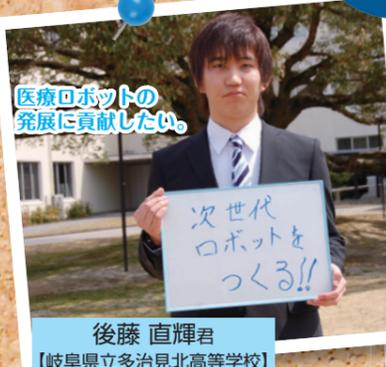
両施設の見学を通じ、建学の理念の意味と、本学に根付く佐吉翁・喜一郎氏ら先人たちの発明・創造・挑戦の精神を体感してもらうことが狙い。

新入生インタビュー 大学生活での

抱負・夢

入学式で、新入生の皆さんに質問! 大学生活での抱負や将来の夢など、熱い決意表明を聞いた。

を教えてください。



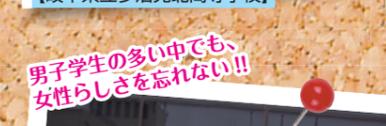
後藤 直輝君
【岐阜県立多治見北高等学校】



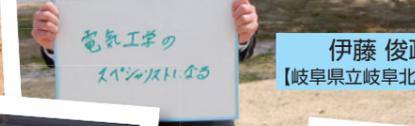
伊藤 俊政君
【岐阜県立岐阜北高等学校】



武藤 大貴君
【佐賀県立佐賀西高等学校】



山崎 遥香さん
【私立西南学院高等学校 (福岡県)】



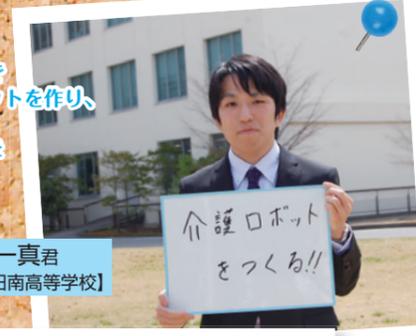
鈴木 志奈子さん
【愛知県立一宮高等学校】



佐野 純君
【静岡県立磐田南高等学校】



吉田 菜菜さん
【私立山脇学園高等学校 (東京都)】



横井 一真君
【静岡県立磐田南高等学校】



甲斐 鈴菜さん
【私立延岡学園高等学校 (宮崎県)】

平川 菜さん
【岐阜県立可児高等学校】



水島 誠太郎君
【愛知県立安城高等学校】

日本ではまだまだ少ない理系女子ですが、そんな理系女子の目標となるような女性になりたい。モノづくりに女性ならではの感性を生かし、男子学生に負けずに頑張るぞ!!

2013年度 入試結果

入試区分		入学定員	募集人員	志願者	合格者	入学者
工学部	一般入試	80	50	672	314	101
	専門高校特別推薦入試(公募制)		若干	0	0	
	「サイエンス・ラボ体験コース」 修了者対象推薦入試		若干	0	0	
	外国政府派遣留学生特別選抜入試		若干	0	0	
	社会人入試(含編入学試験) (内編入学試験)		30 (若干)	12 (1)	8 (1)	
	高等専門学校卒業予定者を対象とする 編入学試験		若干	3	3	2
大学院修士課程	一般入試	36		71	48	46
	学部3年次対象特別選抜入試		36	0	0	
	社会人入試			1	1	
	ダブルディグリー留学生入学資格審査		若干	1	1	
	2次募集		若干	—	—	
大学院博士 後期課程	夏季入試(2012年7月実施)	12	12	0	0	5(※)
	冬季入試(2012年11月実施)			1	1	
	外国人(海外在住)(2012年度内実施)			5	4	
	追加入試(実施せず)				—	

(※) 3名は2012年10月入学、2名は2013年4月入学

【入試担当者が語る2013年度入試結果】

「国公立大学」「地元」というキーワードが浸透している近年の受験動向にあって、本学は愛知県内の他大学と比べ、全国からの受験生の入学率が高いという特徴があります。産学一体となった実学教育や恵まれた研究環境で「就業力」を身に付け、就職決定率100%を毎年達成している点などが、全国の受験生や保護者の皆様から関心を寄せていただく要因の一つになっていると考えます。

オープンキャンパス日程

オープンキャンパスでは、本学の特徴や入試についての説明を行います。保護者の方も一緒にご参加いただけます。駐車場もあり(9月は利用不可)、参加費は無料です。予約が必要な日程もありますので、事前にご確認ください。さらに今年は11月頃に保護者の方を対象とした説明会も開催致します。

Schedule

8/24(土)・8/25(日) _____ **11:00~16:30**

11:00-16:30の1日コースです。予約が必要です(昼食あり)。体験授業とキャンパス見学、在学生との相談会や保護者懇談会もあります。参加ご希望の方はHPをご覧ください(詳細は6月下旬に公開予定)。

9/14(土)・9/15(日) _____ **13:00~14:30**

13:00-14:30の開催です。予約は不要です。大学祭と同時開催のため、特設ステージや模擬店などもあり、にぎやかな豊田工業大学をお楽しみいただけます。※大学祭で混雑するため、ご来場は公共交通機関をご利用ください。

保護者対象説明会 11月頃に開催予定

予約が必要です。詳細はHPでご案内致します。

■お問い合わせ先:学生部 入試グループ

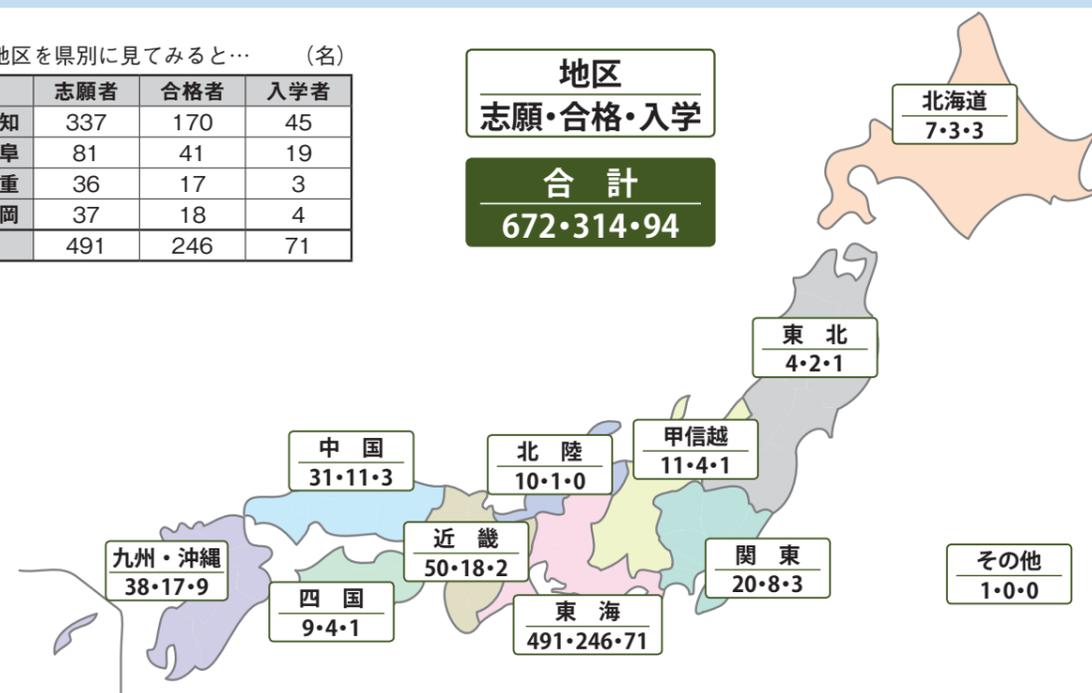
TEL:0120-3749-72(フリーダイヤル)

✉nyushi@toyota-ti.ac.jp URL:http://www.toyota-ti.ac.jp/juken/open/index.html

工学部一般入試における出身高校所在地別データ

東海地区を県別に見てみると… (名)

	志願者	合格者	入学者
愛知	337	170	45
岐阜	81	41	19
三重	36	17	3
静岡	37	18	4
計	491	246	71



2013年度合格者高校一覧

※高等学校等コード順

県名	高校名
北海道	札幌東、札幌南、北嶺
宮城県	仙台第一
福島県	安積黎明
茨城県	下妻第一
千葉県	佐原、成田
東京都	筑波大学附属、三田、山脇学園、実践学園
神奈川県	公文国際学園高等部
石川県	金沢
山梨県	甲府東
長野県	上田、松本県ヶ丘、松本深志
岐阜県	岐阜、岐阜北、加納、大垣北、大垣東、関、多治見北、恵那、斐太、大垣西、可児、各務原西、鶯谷、岐阜東、帝京大学可児
静岡県	沼津東、富士、清水南、静岡東、袋井、磐田南、浜松北、浜松南、浜松日体、藤枝明誠
愛知県	名古屋大学教育学部附属、旭丘、明和、千種、瑞陵、松蔭、昭和、春日井、東郷、一宮、一宮西、五条、横須賀、半田、刈谷、刈谷北、安城、安城東、西尾東、岡崎、岡崎北、幸田、豊田西、国府、時習館、豊橋東、蒲郡東、成章、天白、東海南、菊里、向陽、桜台、北、富田、西春、一宮南、豊田北、江南、小牧南、豊田南、半田東、名古屋南、名東、知立東、愛知、東海、東邦、名古屋、南山、愛知啓成、星城、滝、春日丘、桜丘、杜若、愛知産業大学三河、大成

県名	高校名
三重県	四日市、四日市南、津、津西、伊勢、海星、鈴鹿、学法津田学園
滋賀県	虎姫
京都府	京都教育大学附属、京都共栄学園
大阪府	豊中、千里、高津、天王寺、履正社
兵庫県	明石西、小野、龍野、洲本、滝川
奈良県	奈良、帝塚山
岡山県	岡山芳泉、津山、岡山理科大学附属
広島県	呉宮原、尾道北、基町、広島、修道、AICJ、広島学院
山口県	岩国
徳島県	富岡東
香川県	観音寺第一
愛媛県	松山南
高知県	土佐
福岡県	育徳館、筑紫丘、西南学院
佐賀県	佐賀西、鹿島、致遠館、東明館
長崎県	長崎西
熊本県	熊本、熊本北
大分県	別府鶴見丘、大分上野丘
宮崎県	延岡学園
鹿児島県	鶴丸、出水中央

先人たちの情熱と夢を実感できるスペース

Innovators Plaza t-COMPASS 新設

概要

1981年の開学から約30年を経て、改めて建学時の理念を振り返り、先駆者たちの夢や情熱、本学のルーツを学生たちに伝える場として「Innovators Plaza t-COMPASS」を1月29日に開設した。

本スペースは、総合情報センター内にある附属図書館の一角に設置し、豊田佐吉翁、喜一郎氏はじめ、繊維・自動車産業発展に大きく貢献した先人たちの足跡や思想を紹介している。

1月29日には、豊田章一郎トヨタ自動車名誉会長ご出席のもと、オープニングセレモニーを実施した。

名前の由来

先人の息吹を感じ取り、若者がこれから向かうべき未来を指し示す羅針盤（COMPASS）となることを期待し、命名した。



設立にあたって

日本を代表する発明家であり、トヨタグループの創始者でもある豊田佐吉翁の遺訓を本学は建学の理念として掲げ、第二、第三の佐吉の誕生を願っています。

本スペースは、一世紀半におよぶ「研究と創造」の歴史の一端を様々な形で紹介するとともに、豊田佐吉翁、喜一郎氏をはじめとする偉大な先人たちの情熱や、モノづくりに対する挑戦の歩みを伝える場です。本スペースを訪れることで、モノづくりの発展に大きな功績のあった多くの先人たちの情熱や夢が、次代を担う若者たちに受け継がれていくことを願っています。

学長 榊 裕之

豊田佐吉翁・豊田喜一郎氏 人物紹介

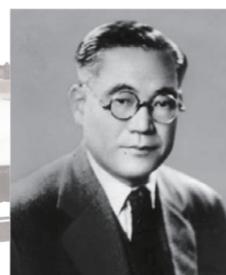


障子を開けてみよ、外は広いぞ。

豊田 佐吉

慶応3年(1867) - 昭和5年(1930)

18歳の頃、「発明で社会の役に立ち、国家に尽くしたい」と立志し、独学で織機の改良を開始。「豊田式木製人力織機」の発明を皮切りに、得た特許は十数カ国で総数200件を超える。1924年に完成させた「無停止杼換式豊田自動織機（G型）」は、英国企業からも「世界一の魔法の織機」と評された。



手を汚さないで仕事ができるか。

豊田 喜一郎

明治27年(1894) - 昭和27年(1952)

佐吉の長男として誕生。東京帝国大学工学部卒業後、1920年、豊田紡織株式会社に入社。二度の海外渡航で欧米における自動車工業の実情に接し、冒険的と思われた自動車づくりに乗り出す。1937年にトヨタ自動車工業株式会社（現トヨタ自動車株式会社）を設立し、翌年、日本初の自動車一貫生産工場を建設。その後の「トヨタ生産方式」の源流を作った。

施設概要

挑戦の歴史を知る

産業史に燦然と輝く先人たちの挑戦の歴史を、当時の写真とともにパネルで紹介。技術の発展が人々の暮らしと社会にどのように貢献してきたかを知ることができます。



豊田佐吉翁・豊田喜一郎氏の残した名言の数々を紹介。また、国内外の主な出来事と発明・発見を紹介する関連年表も設置。



豊田佐吉翁の誕生から本学の設立までの約一世紀にわたる技術と産業の発展の流れを紹介。

モノづくりへの関心を高める

先人たちによる設計図面・特許書類・学生時代のノートなどの貴重な資料を通じ、学修の指針を示すとともに、モノづくりに対する関心を高めることができます。



豊田佐吉翁が初めて取得した特許証や図面。



豊田佐吉翁・豊田喜一郎氏が海外渡航の際に使用した伝承のある鞆。



豊田英二氏が大学時代に使用していたノート。

情熱と夢にふれる



液晶画面を利用して、動画をはじめとするビジュアルコンテンツにより、先人たちの情熱と夢にふれることができます。



スペース内に設置のキューブを持って所定の位置にかざすと…



画面に関連する映像が流れます（タッチパネルでも操作可能）。

本スペース設置にあたりましては、以下の団体、企業各位より貴重な所蔵品や資料をお借りするとともに展示方法などに関して有益な助言をいただきました。

- ・株式会社デンソー
- ・トヨタ自動車株式会社
- ・株式会社豊田自動織機
- ・トヨタテクノミュージアム産業技術記念館
- ・トヨタ紡織株式会社

より深く幅広く知る



豊田佐吉翁や豊田喜一郎氏など先人たちの生き方、技術と産業への貢献に関する図書を約100冊所蔵。より深く、より広く知ることができます。



本スペース内において、自由に閲覧することが可能。



豊田佐吉翁が紹介された、昭和初期の国語の教科書。



毎号さまざまな分野で活躍する卒業生を紹介しています。
旧友の方々にとっては良き近況報告、学生・受験生の皆さんには、将来のキャリアプランと学生生活を考える機会になれば幸いです。
今回は、1987年度に学部を卒業し、大豊工業株式会社技術管理部にてご活躍中の川越公男さんにご登場いただきます。

～進化+深化した4年間～

自己紹介

こんにちは、大豊工業株式会社の川越です。当社は、トライボロジー(潤滑)技術をコアとしたエンジン用の軸受を主力製品とし、ダイカスト製品、組付製品も手掛けるトヨタ系部品メーカーです。現在、私は技術管理部に所属し、技術開発の戦略的推進のために、低燃費自動車などに使用される当社製品の開発を支える業務に携わっています。

会社に入る前から「高校で学んだ知識だけでなく、もっと工学の基礎学力をつけたい」と感じており、豊田工業大学を目指しました。卒業して25年が経ち、豊田工業大学で過ごした当時をとても懐かしく感じています。



社内製品展示ゾーンにて

Pick up!

かわこえ きみお
川越公男さん

- ・1987年度工学部卒業(第4期生)
- ・在学中は、ニューセラミック材料研究室に所属
- ・現在は、大豊工業株式会社技術管理部にてご活躍中

あります。当時、大学にあったプールの中に、コンタクトレンズを落としてしまったことがありましたが、研究室の先輩に「絶対プールの中にはある、度付ゴーグルを貸すから探してみよう」と言われ、25m×15mの水中を1人で1時間ほど捜した結果、無事に見つけ出すことができました。この時ほど、諦めないことの大切さを感じたことはありません。仕事でつまづくことがあっても、解決策は必ずあると信じ、諦めずに取り組む原点となっています。

後輩の皆さんへのメッセージ

卒業後は、大学で学んだことを生かしてセラミックス製品やエンジン用軸受の開発に約15年間携わってきました。数年前に転機が訪れ、人事部の業務を担当し、今年の1月に技術部門に戻ってきました。私は“モノづくり”と“ヒトづくり”の両方を経験することができました。

その中で感じることは、モノづくり、ヒトづくりのいずれにおいても、高い目標を持つこと、ルールを守ること、そして仲間

と力を合わせることで、この3つが重要だということです。高い目標がモノの改善やヒトの成長につながるのはもちろんのこと、ルールを守ることが安定したモノづくりや責任感の強いヒトづくりにつながり、さらには仲間と力を合わせることで、安くて優れたモノづくりや心優しきヒトづくりにつながるのだと思います。私自身も、この3点を常に意識して日々頑張っています。

自分が学生だった頃は、全員が企業出身の学生で、卒業後に戻る会社が決まっていたため、ある程度習得すべきスキルが明確で、対象を絞って勉強していました。その反面、新たな視野を広げることよりも、関連分野の知識を深めることを優先しがちな傾向があり、自分の枠に閉じこもりやすかったと思います。

現在の豊田工業大学では、以前にも増して基盤となる知識を幅広く学びつつ、軸となる分野をしっかりと掘り下げる教育方針だと聞いています。皆さんには、全てにおいて幅広い関心を持ち、多くを学び、多くの人と接し、さらに進化+深化を遂げてほしいと思います。

人事紹介

【新任】

武野 計二 教授<52歳>
(熱エネルギー工学研究室)



<経歴>

1989年	東京大学 工学博士
1989～2013年	三菱重工業株式会社(長崎研究所) 所属
2000～2006年	熊本大学工学部 非常勤教授(兼任)
2013年3月	本学教授に着任

<主な研究分野>

人類の生活に欠かせないエネルギーをいかに高効率、安全、クリーンに創り出すかを主な研究テーマとしています。具体的には粗悪燃料の燃焼・ガス化、高圧気体の燃焼機構および安全工学、さらに再生可能エネルギーであるバイオマス(草木)の高効率エネルギー変換について研究を進めていきます。

【新任】

岩田 直高 教授<55歳>
(電子デバイス研究室)



<経歴>

1983～2013年	NECを経て、ルネサスエレクトロニクス株式会社に所属
1999年	筑波大学 博士(工学)
2005～2011年	電気通信大学 客員(特任)教授
2013年4月	本学教授に着任

<主な研究分野>

持続可能な省エネ社会の実現に向けて、高集積化と省電力高速動作化が困難になってきたSiトランジスタを凌駕する半導体デバイスの実現が求められています。これに対して、Siウエハ上への化合物半導体成長とヘテロ接合デバイスの研究を中心に、ナノ構造を利用した新しい動作原理のデバイス研究し、回路を含めた応用技術の研究を進めます。

【新任】

各務 学 連携客員教授<53歳>
(光デバイス・ネットワーク研究室)



<経歴>

1984～1991年	三菱レイヨン株式会社所属
1992年～現在	株式会社豊田中央研究所所属
1999年	豊橋技術科学大学 博士(工学)
2013年6月	本学連携客員教授に着任

<主な研究分野>

通信およびセンサ用の光デバイス、およびそれらを用いたセンサネットワークの研究を行います。光デバイス技術では、最先端の物理や化学を融合した新規の機能や実装技術の創出を狙います。ネットワーク技術では、デバイスと連携し、システム性能最大化と安定化のための実用化研究を、国際標準と併せてオープンイノベーションで推進します。

【退職】

2013年3月31日付で、次の先生が定年退職されました。

中川 徹 教授 電子情報分野研究室(情報システム担当)

学校法人トヨタ学園役員一覧

2013年6月8日の理事会において、下記体制に変更となった。(敬称略)

名誉理事長	
豊田 達郎	トヨタ自動車株式会社 相談役
理事長	
瀧本 正民	株式会社豊田中央研究所 代表取締役
常務理事	
渡部 教行(新任)	学校法人トヨタ学園 事務局長
理事	
井上 博允	東京大学 名誉教授
加藤 伸一	トヨタ自動車株式会社 顧問
齋藤 明彦	株式会社デンソー 相談役
榊 裕之	豊田工業大学 学長
下村 節宏	三菱電機株式会社 取締役会長
豊田 英二	トヨタ自動車株式会社 最高顧問
豊田 章一郎	トヨタ自動車株式会社 名誉会長
古井 貞照(新任)	東京工業大学 名誉教授・特任教授
宗岡 正二(新任)	新日鐵住金株式会社 取締役会長
山本 尚(新任)	中部大学総合工学研究所 教授
監事	
池淵 浩介(新任)	トヨタ自動車株式会社 顧問・技監
後藤 貞明	後藤貞明公認会計士事務所 所長 公認会計士
松尾 邦弘	トヨタ自動車株式会社 監査役 弁護士

【退任(5名)】

理事・評議員：今井 敬
理事：柏原 正則、金原 淑郎、染谷 常雄
監事：上垣外 修己

※なお、柏原 正則 前常務理事は顧問に就任、金原 淑郎 前理事は評議員を継続



news 1

**豊田工業大学シカゴ校
Toyota Technological Institute at Chicago
新学長に古井貞熙氏を選出**

本学が2003年に米国シカゴに設立し、9月に開校10周年を迎える大学院大学 Toyota Technological Institute at Chicago (TTI-C)の新学長に、4月1日付で古井貞熙(ふるいさだおき)氏が就任した。任期は2016年3月31日までの3年間。

古井新学長は1945年生まれで、1970年に東京大学大学院工学研究科修士課程修了後、日本電信電話公社(現NTT)に入社。1997年より、東京工業大学大学院情報理工学研究科教授を務め、同研究科長を経て、現在は名誉教授・特命教授を務める。

専門は、音声・話者認識、音声知覚・合成、マルチメディア情報処理分野。



news 2

**先端フォトンテクノロジー研究センター
シンポジウム開催**

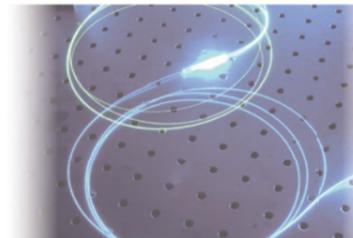
文部科学省 私立大学戦略的研究基盤形成支援事業「先端フォトンテクノロジー研究センター(センター長 大石泰丈教授)のシンポジウムを3月8日に開催し、95名が参加した。

本センターは、1997年度に採択されて以降、16年にわたり4つの研究プロジェクトを推進。2011年度に新たに始まった「超オクターブフォトニクス」プロジェクトでは、超低消費電力ネットワーク技術構築に必要な光デバイスの実現を目指している。

シンポジウムでは、Frédéric Smehtala氏(ICB Laboratoire Interdisciplinaire Carnot de Bourgogne - Université de Bourgogne Professor)、三澤弘明氏(北海道大学 電子科学研究所 所長)、井上晴夫氏(首都大学東京 戦略研究センター 教授)による招待講演の他、これまでの研究成果に関する発表が行われた。



講演する Frédéric Smehtala 氏



News FILE

news 4

瀧本正民理事長が学生向けの特別講座を実施

トヨタ自動車株式会社の代表取締役副社長を経て、現在株式会社豊田中央研究所代表取締役を務める瀧本正民理事長による特別講座が5月30日に行われた。研究開発の最前線における自身の体験をふまえて、自動車関連分野での技術開発の歴史と展望について語った。学部生に加え、大学院生や教職員の参加もあり、総勢約250名が聴講した。

「サステナブルなモビリティの実現を目指して」と題し、自動車の発明から120年余りが経過した現在における解決すべき課題とその対応、検討状況について解説。中でも環境、エネルギー、安全性能などの諸問題を解決するには、工学における基盤的な知識を幅広く確実に身に付けた上で、新しい分野の知見を加えて生まれる新技術が重要であると説明。加えて、新商品を世の中に送り出すには、コストや利益だけでなく、インフラ整備を含めた社会構造など外部要因にも十分目を配る必要がある。そのためには政治・経済さらには哲学などにも関心を持ち、立場の異なる人とのコミュニケーション力や、未来に対する夢と志も持ち合わせてほしいとのメッセージを送った。



news 3

寮生活での“頼れる先輩”を表彰

寮生活において優れたリーダーシップを発揮した学生を表彰する制度が2012年度より始まった。

寮生活では、1年生7人に対し、先輩学生が1人「寮生サポーター」として配属され、8人で1ユニットを構成する。寮生サポーターは、共同生活における問題解決、後輩の生活面・学習面での指導など、各ユニットのリーダー役を担い、学生の投票および教員との面談によって希望者から選ばれる。約1年間にわたる後輩学生への適切な指導・サポートを行い、担当ユニットの平均成績の上位維持や伸長に大きく貢献したことが評価され、3名の学生が表彰された。

表彰されたのは、森洸樹君(愛知県立小牧南高等学校出身)、上原諒君(ダイハツ工業株式会社)、箕浦琢真君(名古屋市立名東高等学校出身)の3名。森君は「過去問などに頼ることなく本質的な勉強法を指導した」と、平均成績1位のユニットに導いた秘訣を説明した。上原君は「規則正しい生

活こそ成績にも好影響を与えると考えた」、箕浦君は「皆と一緒に勉強することを大切に、お互いに教え合うことで完全理解に務めた」とそれぞれ工夫した点を述べた。

教務委員長である齋藤和也教授は「寮生サポーターは、問題解決に導くリーダーシップ能力や、後輩とのコミュニケーション能力など、様々な力量が必要とされる。彼らの高い意識が、1年生の規律ある生活習慣や、ひいては成績にも好影響を与える。表彰制度の導入により、寮生サポーターのさらなるモチベーションアップにつながることを期待する」と説明した。

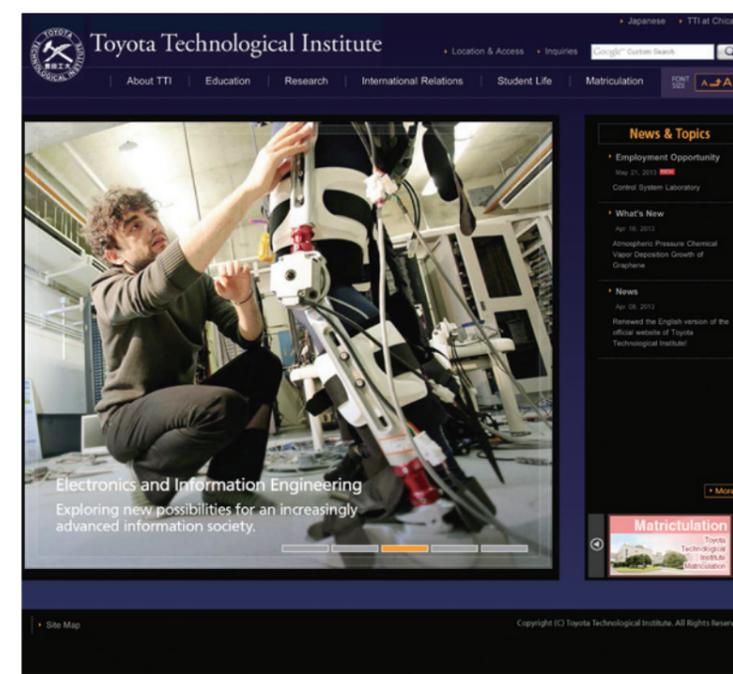


授賞式の様子。左から齋藤和也教務委員長、箕浦琢真君、上原諒君、森洸樹君、榊裕之学長

news 5

本学公式サイト(英語版)をリニューアル

2013年度より公式サイトの英語版を全面リニューアルした。本学の概要や取り組み情報を刷新した他、教員・研究室などの活動内容を詳細に紹介している。これにより、外国人対象入試や外国人研究員の募集、国際連携など利便性の向上を図り、さらなる国際交流の活性化を目指す。



news 6

オリジナルボトル完成

本学のオリジナルラベルを使用したペットボトルが1月に完成した。

岐阜県奥美濃から湧き出した天然水を使用し、爽やかな味を想像させる透明感のある水色を基調としたラベルには、建学の理念である豊田佐吉翁遺訓もデザインされている。売店「天樹」および学内自販機にて1本100円で販売中。



受賞

学内

豊田奨学基金賞

学業成績・人物ともに特に優秀な本学の卒業生及び修了生に対し授与する。

	受賞者	研究室
学部	長内 翔太 (トヨタ自動車株式会社)	ナノ電子工学研究室 (学部4年)
修士	酒井 玲香 (私立鶯谷高等学校 (岐阜県) 出身)	物質工学分野 高分子ナノ複合材料研究室 (修士2年)

※豊田奨学基金

学生の奨学金、その他の教育研究に対する助成を行うことを目的に、トヨタグループ各社からの寄付金をもって設置された基金

学外

各学会から、人格・学業ともに優秀であると認められた者に授与する。

受賞名	受賞者	研究室
日本機械学会畠山賞 (学部)	野口 俊仁 (長野県立長野県諏訪二葉高等学校出身)	流体工学研究室 (学部4年)
日本機械学会三浦賞 (修士)	佐藤 龍仁 (岐阜県立多治見高等学校出身)	マイクロメカトロニクス研究室(修士2年)
計測自動制御学会中部支部賞	大西 健史 (大阪府立千里高等学校出身)	知能数理研究室 (学部4年)
電気学会東海支部長賞	長内 翔太 (トヨタ自動車株式会社)	ナノ電子工学研究室 (学部4年)
日本鑄造工学会奨励賞	末次 晋平 (私立長崎日本大学高等学校 (長崎県) 出身)	材料プロセス研究室 (修士2年)
国際会議： ISAEM-2012 Best Poster Award	酒井 玲香 (私立鶯谷高等学校 (岐阜県) 出身)	物質工学分野 高分子ナノ複合材料研究室 (修士2年)
国際会議： ISAEM-2012 Best Poster Award	伊與田 文俊 (私立人間環境大学岡崎学園高等学校 (愛知県) 出身)	物質工学分野 高分子ナノ複合材料研究室 (修士2年)



左から野口俊仁君、佐藤龍仁君、末次晋平君、伊與田文俊君、成清辰生教授、大西健史君、長内翔太君、酒井玲香さん

編集後記

t-COMPASSの新設、瀧本正民理事長による特別講義の開催など、改めて本学の原点を再認識する機会に数多く恵まれました。新たな環境での生活をスタートした新入生、卒業生はじめ、本学関係者の皆さんにとって、本号が建学の精神を改めて胸に刻むきっかけとなることを願っています。